



STEP WORLD TIMES

発行者 一般財団法人 日本ラーニング・ラボラトリー教育センター 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6251

June 2018 No.134

キミも
チャレンジ!



「全国ジュニア英語スピーチコンテスト」が新しくなります。

第41回 全国ジュニア英語スピーチコンテスト

主催:一般財団法人 日本LL教育センター
後援(予定):株式会社 旺文社、公益財団法人 日本英語検定協会
一般財団法人 日本生涯学習総合研究所
学校法人 佐野学園 神田外語学院 他、協賛3団体

昨年度で40回という節目を迎えた「全国ジュニア英語スピーチコンテスト」。第41回の本年度からは内容を一新し、新たな形でスタートします。参加形態は「**個人部門**」と「**グループ部門**」の2部門です。

個人部門では、アプリを使って自主学習しながら英語の発音に関わる能力や自己表現力を高め、グループ部門では他者とのやりとり、協同作業の中でコミュニケーション力を高めることを目指します。

各部門の詳細内容は下記のとおりです。普段の学習とは違うこの貴重なチャンスを逃さず、ぜひ君もチャレンジしてみよう!

スピーチコンテスト改定の理由・目的

自作英文であろうと課題文であろうと、「その文章に自らの思いを込め、気持ちを載せてスピーチをし、聴衆に伝える」という経験は、英語学習の過程において非常に重要な役割を果たします。本コンテストからも、この40年を通じ、数多くのレベルの高いスピーチが生まれ、この経験をステップに、国内外で活躍する人材を生み出してきました。しかし参加者の声をもっと裾野まで広げると、「自分自身の基礎英語力をもっとしっかり身につけないと、コンテストに出場しても苦い経験になってしまう」という声も見受けられました。

ステップワールドでは英語指導について考える時、大切にしていることがあります。それは「**私たちは、英語を他者との豊かなコミュニケーションを図るための“ことば”としてとらえ、単に英語が話せる子ではなく、考える子、自己の考えを発信できる子、豊かな感性を持つ子になるよう育てる**」というものです。新方式のスピーチコンテストにおいても、まずはこの、「**自分の思いを込めた“ことば”の活動**」に重きをおいて、子どもたちが「やる気」をもってチャレンジでき、一部の子どもたちだけでなく、ステップワールドの子どもたちみんなに参加してもらえよう、再考し、今回の改定に至りました。



グループ部門

■対象:年少^{*}~小学4年生 ^{*}年少:平成26年4月2日~平成27年4月1日生

・ステップワールド英語スクール及び各協賛団体が運営する英語スクールのみ参加できます。

■参加形式/人数:3~8名のグループ発表

・3~8名のグループ発表を撮影した動画を提出。
・各スクール2グループまで参加可能です。

■内容:各英語スクール(協賛団体)の教材を扱ったグループ発表

例えば ・教材の中の会話文を独自にアレンジしたロールプレイ
・テキストのテーマに沿ったShow and Tellをグループで発表するなど

子どもたちが表情豊かに生き生きと、主体性をもって参加できる作品を各教室の指導のもと、ビデオ動画に撮って応募します。

基本的な発音等の英語力はもちろん、チームワーク、全体的な印象等を含めて審査します。

みんなで協力し合って作品を作り上げていく中で、子供たちのコミュニケーション能力、英語力が培われることが期待されます。

各教室での発表を
動画撮影、提出

入賞

東京の会場にて
動画公開&表彰式



■表彰

応募された作品は、英語教育専門家により審査され、以下の賞が授与されます。

👑 **グランプリ** 「日本LL教育センター 理事長賞」(1グループ)

トロフィー(教室)、賞状(教室&生徒)、副賞としてスクール奨励金

👑 **優秀賞**

「各後援団体賞」(2~3グループ) ^{*}予定

楯、賞状(教室&生徒)、副賞としてスクール奨励金

裏面へ続く(個人部門&スケジュール)→

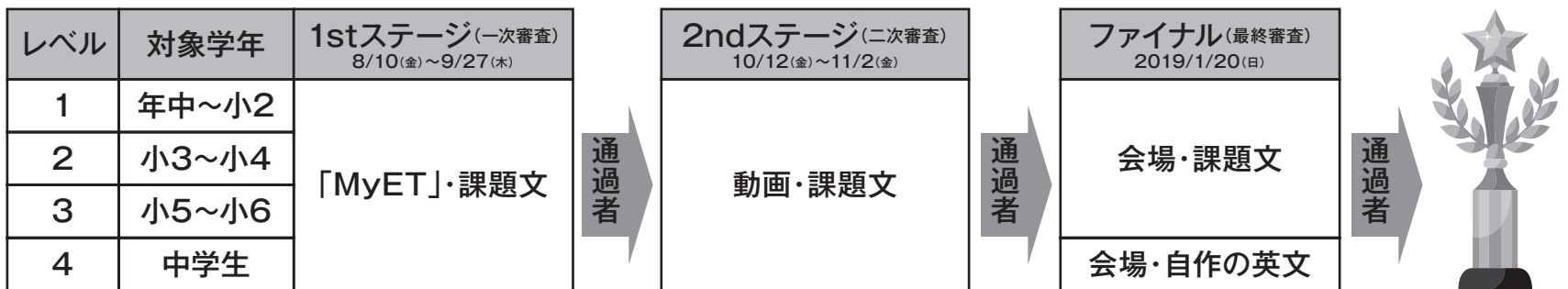
個人部門

■対象: 年中[※]～中学生(ステップワールド生、一般外部生) [※]年中:平成25年4月2日～平成26年4月1日生

・個人部門には対象学年の一般の児童、生徒も申込みが可能です。

■レベル区分とその内容

・4つのレベルがあり、それぞれのレベルごとに競い合います。1→4と難度が高くなりますが、該当学年以上のレベルに挑戦できます。
(例えば小3生はレベル2、3、4のどのレベルでもエントリーできますが、中学生はレベル4のみとなります。)
・課題文は各レベル、1種類です。



1stステージ/MyET・課題文

▶アプリMyETによる審査

英語発音練習アプリ「MyET」を使用して、パソコンやスマートフォン、タブレットなどで各自、各レベルの課題文の練習やコンテスト参加ができます。ここでは、発音(ピッチ、リズム等含む)を重視した審査となります。コンテスト期間内は何度でもチャレンジでき、一番高いスコアが審査されます。

2ndステージ/動画・課題文

▶1stステージ通過者のみ/英語教育専門家による動画審査

1stステージと同一の課題文を発表している様子を録画した動画を提出しますが、暗唱しなければならないというものではありません。ここでは1stステージで養われた基本的英語力だけでなく、**表現力を**主に審査します。

ファイナル/会場・課題文or自作の英文

▶2ndステージ通過者のみ/英語教育専門家による会場審査

東京の会場で、聴衆を前にしてステージ上で発表します。レベル1～3は、これまでと同じ課題文を、レベル4は与えられたテーマに沿った自作の英文を発表します。ここでは、1stステージ・2ndステージの審査基準にプラスして、聴衆の面前でのスピーチ態度が審査され、さらにレベル4の自作英文では、自分の等身大の言葉を使った伝わりやすい表現かどうか等、スピーチの内容・構成も審査されます。



■表彰

ファイナル出場者の中から、各レベルごとに以下の賞が授与されます。

👑 **グランプリ** 「日本LL教育センター 理事長賞」(1名)
トロフィー(教室)、賞状(教室&生徒)、副賞として語学研修奨励金

👑 **優秀賞** 「各後援団体賞」(2名)
トロフィー、賞状、語学研修奨励金

👑 **奨励賞**(上記入賞者以外全員) 楯、賞状、記念品

★ファイナルに進出できなかったセカンドステージ出場者には、敢闘賞として賞状が授与されます。

★ スケジュール ★

